

素顔の直島再発見！探そう！学ぼう！

直島まちあるき

代表者 大野 あゆみ （経済学部経営システム学科 3 年）



1. 目的と概要

【目的】

平成 26 年度学生支援プロジェクトのご支援を受け、直島の住民が一堂に会し、直島のこれからについて話し合う「直島未来会議」を開催した。

そしてこの結果を受けて平成 27 年度に、直島未来会議の中で明らかとなった「島の魅力の活かし方」や「直島の問題点の解決方法」を実行することを目的に、ワークショップの結果から出てきたアイデアを具現化し実行に移した。具体的には、直島への観光客に対して、直島の町並みや島民との交流を楽しみ、アート以外の直島を知ってもらうことを目的とした「直島ロゲイニング」である。

【概要】

今年度、このプロジェクトでは、昨年度行ったロゲイニングの反省から、反省点を改善し、新たな魅力を加える形で進化させた直島ロゲイニングを開催した。本事業では、ロゲイニングで使用する冊子のチェックポイントを探し、冊子や地図の作成、そして香川県庁のてくてくさぬきのご協力のもと、テーマや地区にあったロゲイニングを実施するというものである。

2. 実施期間（実施日）

平成28年6月1日から 平成29年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

【実施内容】

アート以外の直島を見てもらうために、ロゲイニングを開催する。ロゲイニングとは、地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ感覚の新たなスタイルのまちあるきである。これを、9月と1月の2回実施した。



実際に配布したチラシ

【準備段階】

①テーマ決め

平成27年度学生支援プロジェクトの採択を受けて行ったロゲイニングを参考にしながら、9月・11月・1月に行うロゲイニングのテーマを決めた。具体的なテーマは以下の通りである。

- 9月 : 本村地区
- 11月 : 宮ノ浦地区
- 1月 : 本村地区～歴史探検～

②チェックポイントリストの作成

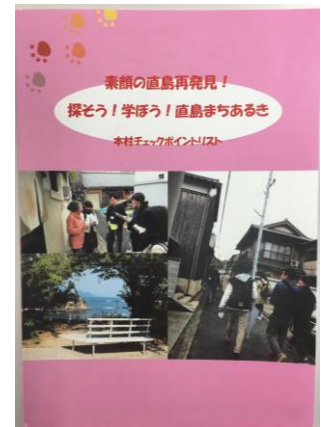
地区・テーマに合わせてチェックポイントを探し、冊子の作成を行った。特に、宮ノ浦地区は初めての作成ということもあり、夏休み中に直島へ通い、チェックポイント探しをした。そして、そのチェックポイントをまとめ、冊子掲載においての許可をチェックポイントになっているお店や住宅へ取りに行った。そうしてできた冊子が以下の3冊である。



9月 本村チェックポイント冊子



11月 宮ノ浦チェックポイント冊子



1月 本村チェックポイント冊子 ~歴史編~
歴史クイズも作成しました。

【第1回】

9月10日（土） 11：30～15：30

参加者：6名

スタッフ：12名

テーマ：本村地区



スタート前の集合写真



すなお君も参加してくれました！



採点中の様子



閉会式の様子

【第2回】

1月22日（日） 11:30～15:30

参加者：8名

スタッフ：12名

テーマ：本村地区～歴史編～



香川県内外様々なところへチラシを置かせてもらいました。



協力してくださった、ういらぶなおしまのメンバーの皆様



ロゲイニング中の様子



町役場で集合写真

【アンケート】

●項目

〈参加者について〉

1. 年齢
2. 性別
3. おすまい（香川県/岡山県/その他）
4. イベントをどこで知ったか

〈ロゲイニングについて〉

1. 説明はわかりやすかった
2. 時間は適切であった
3. やり方は適切であった
4. 冊子は見やすかった
5. マップは見やすかった
6. 1グループの人数は適切であった
7. ロゲイニングは満足であった
8. 昼食（和 cafe ぐう）は満足であった
9. 地域の方と交流ができた
10. 直島のことを知ることができた
11. ご意見・ご感想

●第1回

(9) 地域の方との交流ができた。

(10) 直島のことを知ることができた。

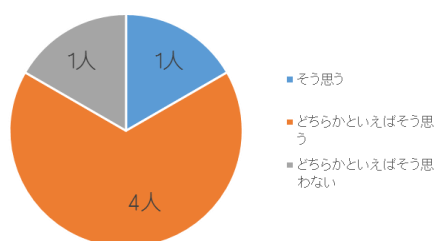


図 1

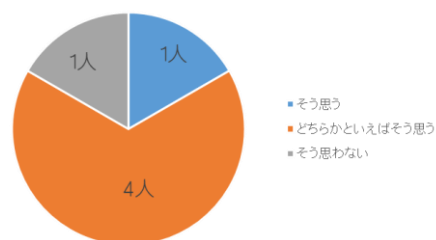


図 2

●第2回

9. 地域の方と交流ができた

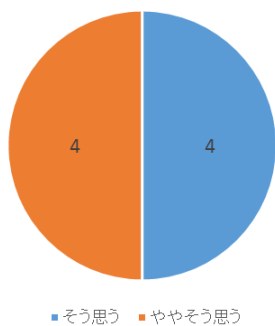


図 3

10. 直島のことを知ることができた

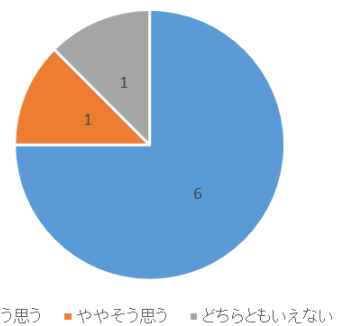


図 4

今回のロゲイニングにおいて、アンケートを行った。様々な項目があったが、このプロジェクトの目的である「島民との交流」と「アート以外の直島を知ってもらう」という2つの項目について報告する。図からもわかるように、ほとんどの人に地域の人との交流を楽しんでもらい、また直島のことを知ってもらうことができた。第1回において、「そう思わない」と回答した方が1人いたため、反省を踏まえて第2回では、直島在住のういらぶなおしまの方全員にチェックポイントとして参加していただいたり、チェックポイントリストの最後にクイズを設けたりした。

「11. ご意見・ご感想」では、「楽しかった」という意見や、「ほかの地区でもやってほしい」という意見がみられた。また、「このロゲイニングで初めて直島へ来た」という方もおり、直島について興味をもってもらうきっかけとなったのではないかと考える。

【ロゲイニング動画の作成】

11月にロゲイニングを開催することができなかったが、「ロゲイニングをもっとわかりやすく動画にしてみないか」というメンバーの意見からロゲイニングを開催する予定だった日に撮影を行い、動画を作成した。今年度は、動画を広報用に使用することは出来なかったが、今後はこれを使用してロゲイニングの説明をしていきたい。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト活動を通して、私たちの活動をより広範囲の人に知ってもらうことができた。具体的に言うと、①宮ノ浦地区のチェックポイント冊子の作成、②広報活動である。①を挙げた理由としては、私たちは普段本村地区を拠点に活動を行っているため、宮ノ浦に住んでいる島民の方と会う機会があまりない。そこで、私たちの活動紹介から行うことで、普段行っている活動も知ってもらうことができた。また、冊子を作成し、町民の方に見てもらうことによって、町民の方も知らなかった直島の魅力を知ってもらうことができた。宮ノ浦地区のチェックポイント冊子は、まだ観光客の方には見てもらっていないため、今後、町役場や観光協会に置くなどして、知ってもらえるよう工夫したい。②の広報活動においては、香川県庁が発行している「てくてくさぬき」での掲載や、「てくてくさぬき」を置いている企業や道の駅などにも電話をし、掲示していただいた。また、テレビに出演しての宣伝も行った。広報活動により、まちあるきには来ていない人たちにも、香川大学でこのような活動をしているということを知ってもらうことができた。

また、アンケート結果でも述べた通り、「初めて直島に来た。もっといろいろなことが知りたいのでまた来ます」という意見をいただき、リピーターの観光客を創出することにもつながったのではないかと考える。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

●直島町・直島町教育委員会の協賛をいただいた

今回のロゲイニングでは、直島町・直島町教育委員会の協賛をいただき、1月のロゲイニングでは町長・副町長も人物ポイントとして参加して下さった。このことにより、いつも以上に緊張感をもってイベントを開催することができた。

●PDCAサイクル

Planの段階であった平成26年度の「直島未来会議」、Planを実行した平成27年度の「直島を歩こう！Let's ロゲイニング」に続き、継続してサイクルを回すことができた。

●チェックポイントリストの作成

今回新たにチェックポイントリストを作成するにあたり、何度も直島へ足を運んだ。そのことにより、今まで以上に直島の魅力を知ることができた。今回知ることができた魅力を、今後発信していきたい。

●コミュニケーション能力

私たち大学生は、社会人と話すことが少ないが、このプロジェクトで島民・参加者などの人たちとお話することができた。そのため、これから社会に出る際に必要なコミュニケーション能力を身に付けることができた。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

【反省点】

●11月に行う予定だったロゲイニングが、参加者が集まらず中止

今回、このプロジェクトでは広報活動に特に力を入れていたが、まだまだ広報力が足りないということを痛感した。

●メンバーの知識量の差

毎週月曜日に行っている定例ミーティングなどで、チェックポイントとなっている場所は説明していたが、「誰がつくった」「いつできた」などは説明していなかったため、知識に差が生じてしまった。

【今後の抱負（計画）】

●定期的に講習会を開催する

実際にメンバーで直島へ行き、ロゲイニングのチェックポイントリストに掲載している場所を上級生が説明していきたい。また、学校でも定例ミーティングなどで知識をつけることができるように学んでいきたい。

●直島プロジェクトのメンバー内でロゲイニングを開催する

今回、2回の実施だったため、まだロゲイニングを経験していないメンバーがいる。そのメンバーを中心にプロジェクトメンバー内でロゲイニングを開催し、イベント実施のスキルを身につけたい。

●広報活動

テレビを見て岡山県から来てくださった参加者がいた。香川県内だけでなく、岡山県をはじめとした中国・四国地方を中心に広報活動を行っていくと、さらに参加者が増えるのではないかと考える。

●今後の計画

今回のプロジェクトで、ロゲイニングの冊子は完成したといえる。そのため、これをもとに今後もロゲイニングを行っていく。

7. 実施メンバー

代表者 大野 あゆみ (経済学部3年)

副代表者 八木 多聞 (経済学部3年)

構成員 福本 真明 (法学部4年)

木原 可南子 (経済学部3年)

黒川 真帆 (経済学部3年)

白川 亮 (法学部3年)

徳田 琴 (経済学部3年)

林 有紗 (経済学部3年)

池本 風光 (工学部2年)

植島 隆介 (工学部2年)

後藤 紀史 (工学部2年)

竹田 圭諒 (工学部2年)

中村 初音 (教育学部2年)

橋本 夏帆 (経済学部2年)

藤本 釉美 (経済学部2年)

美木 安梨沙 (経済学部2年)

尾山 絢菜 (経済学部1年)

小川 詩織 (経済学部1年)

鎌倉 菜七子 (経済学部1年)

嶋田 梨沙 (教育学部1年)

多賀 光洋 (経済学部1年)

難波 恵伍 (経済学部1年)

毛利 仁美 (教育学部1年)